

今後の持続的な成長に向けて、  
変革の行動を推し進め、  
収益基盤の再構築に取り組み、  
利益改善を果たしてまいります。



2021年12月

代表取締役社長 嶋山 芳夫

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第120期上半期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の決算を行いましたのでご報告申し上げます。

## ■ 経営環境について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により緊急事態宣言が延長され、個人消費や企業活動が著しく停滞するなど、厳しい状況で推移しました。先行きにつきましては、国内においてもワクチン接種率が向上し、緊急事態宣言も解除されるなど明るい兆しが見られますが、原油や諸資材価格の高騰などによる景気の下振れリスクの高まりなど、依然として不透明な状況にあります。

印刷業界におきましては、電子書籍市場やインターネット広告市場の拡大による紙媒体の需要減少により、依然として厳しい状況が続きました。

## ■ 業績について

当上半期の業績は、売上高は74億95百万円(前年同期は75億85百万円)となりましたが、印刷事業の収益改善により、損益面では営業損失27百万円(前年同期は4億98百万円の損失)、経常利益1億4百万円(前年同期は2億96百万円の損失)となりました。また、希望退職募集に伴い発生した退職加算金等3億54百万円を特別損失に計上した結果、親会社株主に帰属する中間純損失は3億57百万円(前年同期は25億5百万円の損失)となりました。

セグメント別では、印刷事業は、新聞製品の減少はあったものの物流伝票の増加等で増収となり、外注費等のコスト削減が奏功し損益面では改善となりました。電子部品製造事業は、世界的な半導体不足の影響を受けて減収減益となりました。不動産賃貸等事業は、減収増益となりました。

## ■当社の取り組みについて

印刷事業では、営業部門においては、セールスプロモーション部を中心にマーケティング戦略を推し進め、能動的な企画立案や顧客課題解決提案に取り組み、印刷・デザイン制作・データプリント・カスタマーサポート事務局などのサービス提供やインパクトのある表現が可能なパノラマ印刷の拡販に努めております。また、生産部門においては、敷地を売却した草加工場の機能を連結子会社の新村印刷株式会社が保有する狭山工場の敷地内に建設する新工場へ移転する準備を進めており、2022年9月までに竣工予定としております。

電子部品製造事業では、撤退を決定した那須工場のフラットパネルセンサー製造については、2021年度中に生産を終了し、赤字の流出に歯止めをかけてまいります。また、エッチング精密製品製造については、長年取引実績のある協力会社との生産協業体制を強化し、固定費の削減を実現して収益の改善を図ってまいります。

## ■今後の見通しについて

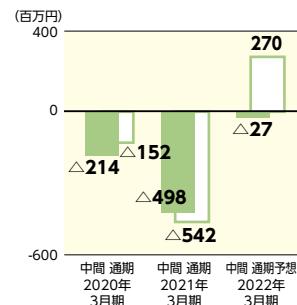
2022年3月期の通期連結業績予想については、当上半期の業績動向、及び今後の見通し等を踏まえ、売上高158億円、営業利益2億70百万円、経常利益3億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1億30百万円に修正してしております。また、期末配当予想については、1株あたり50円としております。

当社グループの今後の持続的な成長に向けて、社員一丸となって変革の行動を推し進め、収益基盤の再構築に取り組み、利益改善を果たしてまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、ひとえにお願い申し上げます。

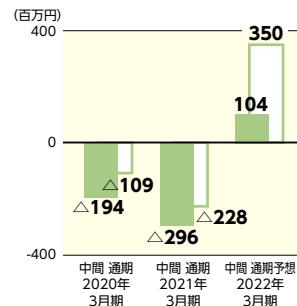
## ■売上高 7,495百万円



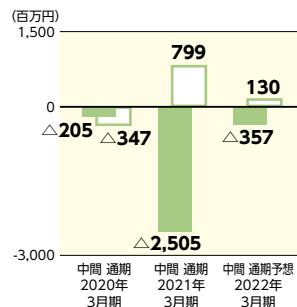
## ■営業利益 △27百万円



## ■経常利益 104百万円

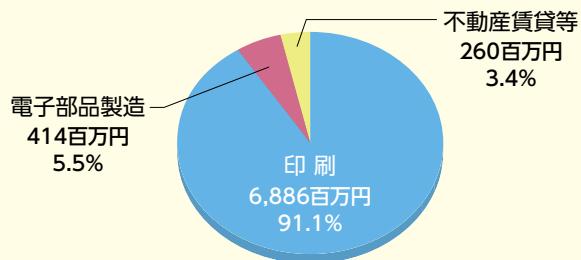


## ■親会社株主に 帰属する 中間純利益 △357百万円



# セグメント別事業報告

## ■売上高構成比



## 印刷



当事業では、宣伝用印刷物や新聞・出版、伝票、包装・パッケージ、映像制作などを扱っております。

新聞製品の減少はあったものの物流伝票の増加等があり、売上高は68億86百万円(前年同期は68億61百万円)、営業損失は10百万円(前年同期は4億83百万円の損失)となりました。

## 電子部品製造



当事業では、車載用タッチパネルやエレクトロニクス製品で使用されるエッチング精密製品などを扱っております。世界的な半導体不足の影響を受け、売上高は4億14百万円(前年同期は5億34百万円)、営業損失は2億11百万円(前年同期は1億98百万円の損失)となりました。

## 不動産賃貸等

当事業では、保有している不動産の賃貸や太陽光発電の事業を行っております。売上高は2億60百万円(前年同期は2億60百万円)、営業利益は1億94百万円(前年同期は1億83百万円)となりました。

## ■ ■ 当社狭山新工場(仮称)の建設が始まりました ■ ■

連結子会社である新村印刷株式会社の狭山工場敷地内において、当社狭山新工場(仮称)の建設に着工しました。S造、地上3階、延床面積5,700㎡の新工場は、2022年9月までに竣工、10月からの本稼働を予定しております。新工場では、敷地を売却した草加工場が取り扱う製品を中心に、将来の注力事業を見据えた効率的な生産を行うための設備投資を行い、生産体制を強化してまいります。受注拡大を見込むCVS(コンビニエンスストアで使用する透明シート付配送伝票入れ袋)やラベル伝票をはじめとする物流関連、医療用添付文書などを製造し、収益体制を確立してまいります。

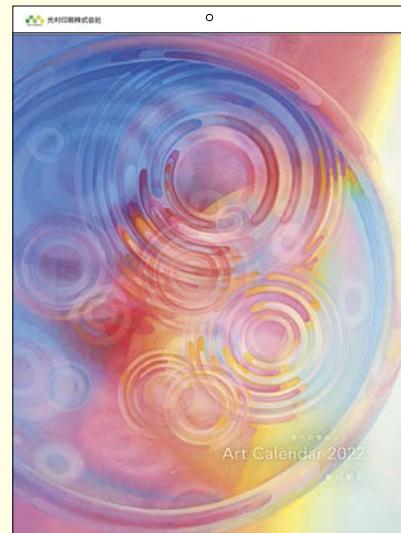


完成イメージ

## ■ ■ 株主優待カレンダーのご紹介 ■ ■

当社創業120周年にあたり、新企画「現代の視点シリーズ」をスタートさせた当社カレンダー。企業理念「ともに作り、ともに伝える。」から生まれるキーワード「つながり」をコンセプトに、お客様へ「届けるつながり」、キュレーターやアーティストとともに「作り上げるつながり」、そして両者を「つなげる」=「アートとの出会いの場」を提供します。2022年は、彩りと動きのあるアートが特徴的な<sup>そやあさえ</sup>曾谷朝絵氏をお迎えして、光と色彩に満ちあふれるカレンダーを制作しましたので、ぜひお楽しみください。

カレンダーは9月30日現在、1単元株以上をご所有の株主様へ12月中旬以降、順次お届けする予定です。



[Washbowl]

# 会社概要

(2021年9月30日現在)

商号 光村印刷株式会社  
創業 1901年10月20日  
設立 1936年12月21日  
資本金 56億788万円  
従業員 534名(連結815名)

## ■事業所



本社

**本 社**  
〒141-8567  
東京都品川区大崎一丁目15番9号  
電話：03-3492-1181 (代表)

**大阪支店**  
〒541-0042  
大阪市中央区今橋二丁目2番17号  
グロース北浜ビルディング3階  
電話：06-6229-5120



川越工場

**川越工場**  
〒350-1165  
埼玉県川越市南台一丁目1番地1  
電話：049-242-4025



草加工場

**草加工場**  
〒340-0013  
埼玉県草加市松江五丁目2番31号  
電話：048-935-1201



那須工場

**那須工場**  
〒324-0036  
栃木県大田原市下石上1378番7  
電話：0287-29-2610

## ■役員

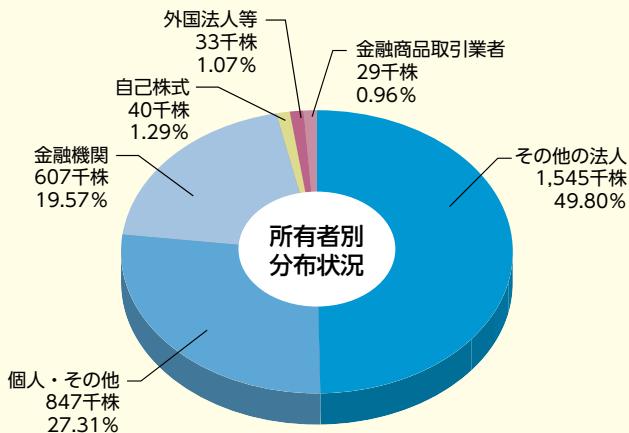
代表取締役会長	阿部 茂雄
代表取締役社長 (社長執行役員)	嶋山 芳夫
取締役 (常務執行役員)	北條 文雄
取締役 (常務執行役員)	谷川 隆治
取締役 (執行役員)	御地合 英伸
社外取締役	柴崎 憲二
社外取締役	榎本 雅彦
常勤監査役	加藤 立人
社外監査役	齋藤 剛
社外監査役	井上 晃
上席執行役員	石川 浩之
上席執行役員	池田 昌隆
上席執行役員	伊東 康博
執行役員	北川 日出男
執行役員	松本 大助
執行役員	両角 はるか

(注) 当社は、社外取締役柴崎憲二、榎本雅彦及び社外監査役齋藤剛の各氏を、東京証券取引所の定めに基づく独立役員に指定しております。

## ■関係会社

新村印刷株式会社  
株式会社光村プロセス  
株式会社城南光村  
光村商事倉庫株式会社  
株式会社メディア光村  
株式会社大洲  
群馬高速オフセット株式会社

発行可能株式総数 9,947,800 株  
 発行済株式の総数 3,103,420 株  
 単元株式数 100 株  
 株主数 2,423 名



## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱製紙株式会社	511	16.71
DIC株式会社	457	14.92
株式会社読売新聞グループ本社	224	7.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	190	6.23
株式会社三菱UFJ銀行	112	3.68
株式会社SCREENホールディングス	100	3.26
株式会社十六銀行	66	2.17
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口4)	51	1.69
三菱HCキャピタル株式会社	48	1.59
光村印刷従業員持株会	45	1.47

(注) 1. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

2. DIC株式会社の所有株式は、同社が退職給付信託の信託財産として拠出しているものです。(株主名簿上の名義は、「日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・DIC株式会社口)」です。)

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
 剰余金配当の基準日 3月31日及び中間配当の

支払を行うときは9月30日

定時株主総会の基準日 3月31日

定時株主総会の開催 毎年6月

公告の方法 電子公告

(<https://www.mitsumura.co.jp/>)

ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 電話 0120-232-711(通話料無料)  
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

特別口座の口座管理機関

同連絡先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒168-0063  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 電話 0120-782-031(通話料無料)

### 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座を開設されている証券会社にお申出ください。  
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



UD  
FONT



光村印刷株式会社 (東証一部: 7916)

〒141-8567 東京都品川区大崎 一丁目15番9号

〈ホームページ〉

<https://www.mitsumura.co.jp/>

右記のQRコードからもご覧いただけます。

